日本共産党 和歌山市会議員
ひめだ高宏ニュース
NO.1215
'18.9.4

まもなく9月定例市議会が

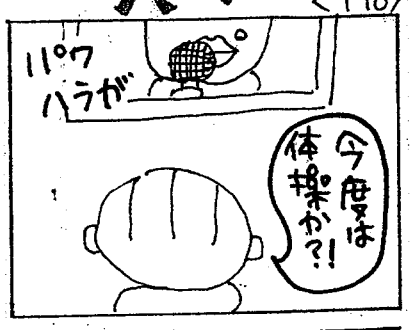
9月5日(水)に、9月定例市議会の日程などを決める議会運営委員会が開かれ、来週の12日から定例市議会が始まります。9月議会では「市議会緊急時業務継続計画(BCP)」に基づき、市議会の避難訓練が行われる予定です。

日本共産党市会議員団 5人全員が一般質問

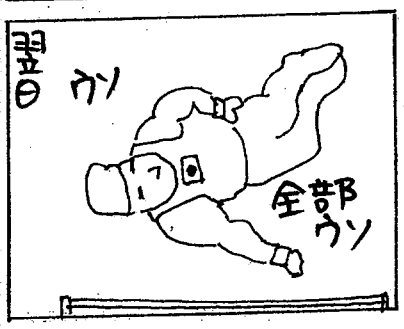
日本共産党市会議員団は9月定例市議会も5人全員が一般質問を行います。質問テーマは、まだハッキリしていませんが、職員の採用や超過勤務のあり方、防災、生活保護世帯のクーラーや就学援助などが…。

私、ひめだの一般質問は、①障害者福祉について、②市役所の組織・機構について、市長や当局の考え方を聞き、私なりの提案をしたいと思っています。

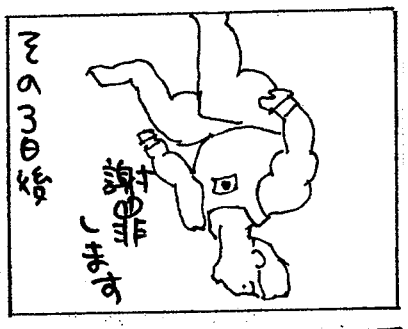
フツーの人々 〈998〉



翌日



その3日後



障害者差別解消の法と条例

障害者福祉については、7月25日に視力障害者の生活を守る会の対市交渉に参加し、視覚障害者と市の話し合いを聞かせてもらいました。どの障害もご苦労は想像できませんが、見えないというのは困難さが格別ではないかと思います。そうした方々が生活の改善のために市の施策の充実を求めて、毎年要求を続けています。何年も要求を続けているのに一向に実現しないのは、なぜでしょうか。予算が少ないのでしょう。

話し合いの冒頭、あいさつした福祉局長は「市は差別解消推進条例を作ったし」と述べました。しかし要求が前進しないのはなぜか？この？の印がノドに詰まっているようです。差別解消推進条例は、障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律から作られた条例です。質問で詰りが取れるようにしたいと思います。

今週のフツーの人々 (その161)

アマチュアスポーツ

夏の高校野球に続き、ジャカルタ・アジア大会が2020年に開かれる東京五輪の前景気をあおるように連日テレビ放映されていたので、私もついつい見てしまいました。水泳の池江璃花子さんが競泳で6個の金メダルを獲得し、MVPを受賞し閉幕しました。特別ファンというわけではありませんが、選手の活躍はうれしいものです。

一方、今年は、女子レスリングやアメフト、ボクシング、そして女子体操と大学や協会内のゴタゴタが連日、テレビのワイドショーに取り上げられました。個々人の言動が事細かに明らかに放送され、見るたびに不愉快な思いをしながらも、ついつい見てしまいます。若い選手の実直な訴えと保身に走る年寄りのズレさが際立つテレビの魔力は恐ろしいものです。

ひめだ高宏

和歌山市デマンド型乗合タクシーの運行

9月3日、市交通政策課から通知がありました。

1. 加太地区の試験運行について

2018.9.13～2019.3.31
1日 4往復 8便
運賃（距離制） 200円～600円
①小島住吉系統 ②淡山島神社系統
③サニータウン系統
すべて加太駅、坂田（バス停）、おこの前を経由します。

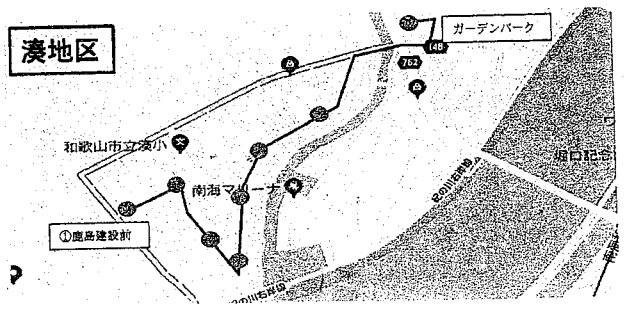
2. 小倉・和佐・湊地区の実証運行について

いずれも 1日 4往復 8便

小倉地区 2018.9.5～9.24
運賃（距離制） 200円～400円
①上三毛自治会館系統 ②勝宝台系統
③金谷自治会館系統
すべて駅と病院を経由します。

湊地区 2018.9.27～10.16
運賃（距離制） 200円～300円
①鹿島建設前～ガーデンパーク
土入橋のバス停へ接続します。

和佐地区 2018.10.19～11.7
運賃（距離制） 200円～300円
①下和佐自治会館系統
②禰宜自治会館系統
すべて布施屋駅へ接続します。



こんにちは 松坂みち子です

高校生と意見交換

議会の広報委員をしています。先日広報委員会で、市立和歌山高校の生徒さんたちと「まちづくり」「教育」「観光」「環境」「公共交通」のテーマに別れて、意見交換会を行いました。私は「観光」のグループでした。

"高齢者向けのこともよいけど、若い人向けにも何かほしい"、"芸能人のイベントがあって和歌山に来ても、他に遊べる場所がないから泊まらないで帰ってしまう人が多いと思う"、"話題になりそうなお店とか自分たちももっと知って発信していけばよい"、"いい店があっても不便な場所で、車でないと行けないから困る"など、高校生ならではの意見に、納得の連続でした。

松坂みち子
（県議予定候補）

まんが 松坂みち子物語

●1956年10月中島家の長女として市内善明寺で生まれました。
●鷺匠町で叔父さんが経営していたそろばん学校に、よく遊びに行きました。
●父の転勤で2歳の時に和歌山市を離れました。
●歌と踊りが大好きで、少女時代は歌って踊れるアイドルを夢見ていました。
●そんなこともあって大学は…
●大学でうたごえに出会い、アコーディオンのとりこになりました。
●ダンスを学べるお茶の水女子大学に進学

●卒業後は楽器メーカーに就職
●1980年に結婚。1男3女を出産。さらに兄の次男も引き取り5人の子育てに奮闘。
●東京都町田市の子育てサークルで、子どもの医療費無料化運動に参加。署名を持って町田市議会の各会派を訪問し、日本共産党と初めて出会いました。
●その後、茨城県に転居。すずめらし町議に立候補し当選。町が合併して市議に。通算8年間つとめました。
●日本共産党が、戦前から戦争反対を貫いていることを知り、入党を決意しました。
●母が一人暮らしになったのを機に和歌山に帰りました。
●2011年4月、和歌山市議選挙に立候補し当選。「平和でなければ」と奮闘中。

台風21号、市議会室を直撃!!

子ども4人と甥を育てながら、茨城県で町議に。そして和歌山市議を2期。子どもたちのために、命を大切にする政治、そして大もとは、平和を守りぬくこと。これが私の原点です。

9月4日（火）改装したての市議会西側の委員会室の2m四方ほどの窓ガラスが台風21号の猛烈な風で吹き飛ばされました。ケガ人がなかったのが幸いでした。